

大阪大谷大学 教職教育センター紀要

第 8 号

大阪大谷大学教職教育センター紀要第 8 号発刊にあたって 藤村 裕爾… 1

《論文》

変わる学校図書館－学校司書の位置づけと養成 中道 厚子… 3

《特別寄稿》

教員をめざす学生への支援を通して（3 年間で振り返って） 井上 雅彦… 17
——退職に寄せて——

《報告》

平成 28 年度「教員免許状更新講習」事業報告 教職教育センター… 23

平成 28 年度「大阪大谷大学教職教育センター」活動報告 教職教育センター… 48

2017 年 3 月

大阪大谷大学教職教育センター

Osaka Ohtani University

Teacher Training Support Center Bulletin

Volume 8

Message from the Center Director FUJIMURA, Yuji 1

《Article》

Changes in School Libraries and their Implications for Roles
and Training of School Librarians NAKAMICHI Atsuko 3

《Special Note》

Reflecting upon Retirement :
My Three-Year Experiences of Supporting Prospective Teachers INOUE Masahiko 17

《Reports》

Teaching License Renewal Program Report – 2016 Teaching Training Support Center 23

Osaka Ohtani University Teacher Training Support Center Annual Report – 2016
Teaching Training Support Center 48

Teacher Training Support Center
Osaka Ohtani University

【報告】

平成 28 年度「教員免許状更新講習」事業報告

教職教育センター

平成 21 年度から教員免許更新制が導入されたことにより、現職教員には定められた修了期限、または有効期限までに免許状更新講習の課程を修了し、免許管理者である都道府県教育委員会による確認を受けることが義務付けられている。本学では開始年度から、更新講習（選択領域）を実施しており、今年度で 8 回目の開催となった。

今年度の各講座・講習は以下の担当教員で実施した。

「特別支援教育講座」	7/30 (土) 8/1 (月) 8/2 (火)	教育学部 教授 小田 浩伸 教育学部 教授 落合 利佳 教育学部 講師 本吉 大介 ※8/1 (月)、8/2 (火) は外部講師 (概要に記載)
「幼児教育講習」	8/3 (水)	教育学部 教授 小田 浩伸 教育学部 准教授 地下 まゆみ 教育学部 教授 長瀬 美子
「学校教育講習」	8/4 (木)	教育学部 特任教授 藤村 裕爾 教育学部 教授 竹本 封由之進 教育学部 講師 竹歳 賢一
「中学・高等学校教育講習」	8/5 (金)	人間社会部 教授 村尾 敏彦 文学部 教授 宇都宮 啓吾 教育学部 教授 笹川 博司

次頁以降に概要等を報告する。

(1) 「特別支援教育講座」

「特別支援教育講座」は病弱教育セミナー in「関西」主催の特別支援教育セミナーとのタイアップにより、7月31日～8月2日の計3日にわたり、大阪大谷大学ハルカスキャンパスで開催。初日の講義を本学の教員が担当し、2日目・3日目の講義を学外の多彩な講師が担当した。

①カリキュラム等



平成28年度 大阪大谷大学 免許状更新講習
(同時開催：特別支援教育セミナーin「関西」2016)

「特別支援教育講座」の案内

大阪大谷大学では、平成28年7月30日(土)、8月1日(月)、2日(火)教員免許状更新講習(選択領域)として「特別支援教育講座」を開催いたします。特別支援教育セミナーとのタイアップにより、多彩な講師陣を迎え、幼児児童生徒の心理・病理的理解や教育的支援・配慮について、教育・心理・医学の専門的な立場から多面的に講義します。

… 講習の概要 …

開設期間	平成28年7月30日(土)、8月1日(月)、2日(火)		
会場	大阪大谷大学ハルカスキャンパス(あべのハルカス23階) (〒545-6023 大阪市阿倍野区阿倍野筋1-1-43) 最寄り駅：JR各線 天王寺駅、近鉄阿部野橋駅、地下鉄 天王寺駅		
講習領域	(選択領域)「受講者が任意に選択して受講する領域」		
担当講師	小田 浩伸 (大阪大谷大学教育学部 教授) 落合 利佳 (大阪大谷大学教育学部 教授) 本吉 大介 (大阪大谷大学教育学部 講師) 新平 鎮博 (国立特別支援教育総合研究所教育情報部長) 岡崎 伸 (大阪市立総合医療センター小児神経科 副部長) 馬戸 史子 (阪大病院こども医療センター、CLS) 吉川 秀樹 (大阪大学理事・副学長、整形外科学教授) 横田 雅史 (帝京平成大学教授) 永井 利三郎 (フール学院大学教育学部教授) 石崎 優子 (関西医大小児科 准教授) 小垣 滋豊 (大阪大学医学系研究科 小児科学講師)		
時間数	18時間	受講料	18,000円
受講者募集期間	平成28年6月16日(木)～ 平成28年7月8日(金) 必着	受講予定者数	50名
受講対象者	全教諭(幼・小・中・高・中等及び特別支援学校教諭、養護教諭)		
履修認定時期	平成28年9月5日(月)まで		
申込方法	様式1-特と様式2をダウンロードして必要事項を記入し、82円切手を貼付した長形3号の返信用封筒(郵便番号・住所・氏名を明記)を同封のうえ、郵送で下記の問い合わせ先にお申し込みください。		
備考	※必要書類に不備がある方は、受講できません。 受講申込をさせていただき、受講可能となった方には、本学より申込書に記載の住所宛に受講票を送付いたします。 ※定員に達した場合は申し込み期間中でも募集を停止させていただきます。 なお、応募者が定員を上回った場合は①本学卒業生、②特別支援学校教諭に該当される方を優先させていただきます。 ※募集開始以前に申込書をお送りいただいても、受付いたしませんのでご了承ください。募集開始日着でご送付ください。 ※受講料お振込後の返金はできませんので、ご了承ください。		

… 問い合わせ先 …

大阪大谷大学 教職支援課 〒584-8540 大阪府富田林市錦織北3丁目11-1 Tel ☎ 0721-24-9891 ☎ Fax ☎ 0721-24-9892 ☎ E-mail ☎ kyoushoku@osaka-ohtani.ac.jp/

※特別支援教育セミナー「関西」2016(8/1・8/2)に申込みを希望される方は、下記の連絡先にお問い合わせ下さい。病弱教育セミナーin「関西」運営委員会事務局(担当 松石) 〒612-8213 京都市伏見区東浜南町670-407 TEL・FAX 075-555-2698 Mail dkikat800@kyoto.zaq.ne.jp

大阪大谷大学「特別支援教育講座」カリキュラム

平成 28 年 7 月 30 日（土）、8 月 1 日（月）、8 月 2 日（火）

会場：大阪大谷大学ハルカスキャンパス

第 1 日 7 月 30 日（土）	
時間	カリキュラム
9:00	受付
9:15	開講式
9:15～10:15	講義Ⅰ「特別支援教育の現状と課題」 講師 小田 浩伸 氏(大阪大谷大学 教授)
10:20～11:00	講義Ⅱ「障がいのある子どもの心理学的理解」 講師 本吉 大介 氏(大阪大谷大学 講師)
11:00～12:00	講義Ⅲ「発達障害の医学的理解と支援」 講師 落合 利佳 氏(大阪大谷大学 教授)
12:00～13:10	昼食・休憩
13:10～15:10	演習Ⅳ「指導・支援に役立つ視覚支援教材の作成演習」 講師 小田 浩伸 氏(大阪大谷大学 教授) 講師 本吉 大介 氏(大阪大谷大学 講師)
15:30～16:30	筆記試験
第 2 日 8 月 1 日（月）	
9:30	受付
9:50～11:20	講義Ⅴ「合理的配慮について」 講師 新平 鎮博 氏 (国立特別支援教育総合研究所教育情報部長)
11:30～12:20	講義Ⅵ-1 病気を持つ子どもへの対応（1） 「子どもホスピスの活動とその意義」 講師 岡崎 伸 氏 (大阪市立総合医療センター小児神経科副部長)
12:20～13:20	昼食・休憩
13:20～14:10	講義Ⅵ-2 病気を持つ子どもへの対応（2） 「“死”に向き合う子ども達の心理支援」 講師 馬戸 史子 氏 (阪大病院こども医療センター、CLS)
14:20～15:50	講義Ⅶ「教育現場での整形外科的疾患」 講師 吉川 秀樹 氏 (大阪大学理事・副学長、整形外科学教授)
16:00～17:30	講義Ⅷ「病弱教育基礎論」 講師 横田 雅史 氏(帝京平成大学教授)
第 3 日 8 月 2 日（火）	
9:30～	事務連絡
9:40～11:10	講義Ⅸ「子どものけいれんと教育現場での対応」 講師 永井 利三郎 氏 (ブール学院大学教育学部教授)
11:20～12:50	講義Ⅹ「発達障がいの子どもの理解と対応の基本」 講師 石崎 優子 氏(関西医大小児科准教授)
12:50～13:40	昼食・休憩
13:40～15:10	講義Ⅺ「学校で配慮すべき心疾患とそのポイント」 講師 小垣 滋豊 氏 (大阪大学医学系研究科小児科学講師)
15:20～16:20	筆記試験

②講義概要（全般）

〈2016 年 7 月 30 日〉

1. 特別支援教育の現状と課題

講師：大阪大谷大学 教授 小田浩伸

障害者差別解消法の施行に伴い、教育における基礎的環境整備と合理的配慮が急務となっている。特別支援教育の基礎的な事項を踏まえ、学校における基礎的環境整備と合理的配慮の考え方について講義を行った。(※1 後述概要有 P 28)

2. 障がいのある子どもの心理学的理解

講師：大阪大谷大学 講師 本吉大介

医学の診断基準にあるような障がいのある子どもの行動特徴について、心理学的な観点からなぜそのような行動になるのかという理解、そして理解を踏まえてどのように支援をしたらよいのかについて講義を行った。(※2 後述概要有 P 29)

3. 発達障がいの医学的理解と支援

講師：大阪大谷大学 教授 落合利佳

自閉スペクトラム症、注意欠如・多動症、限局性学習症を中心にそれぞれの障がいの特性について概説を行った。子どもが適応するか否かは環境との相互作用であり、環境を整えることによって子どもの困り感が少なくなると同時に活躍できるようになることを説明した。(※3 後述概要有 P 30)

4. 指導・支援に役立つ視覚支援教材の作成演習

講師：大阪大谷大学 教授 小田浩伸、講師 本吉大介

スケジュール表とコミュニケーションボードを作成した。既製品のものもあるが、手作りのオリジナルはカスタマイズができる点が長所であり、簡単に作れるものであるという実体験を含めて演習を行った。

〈2016年8月1日〉

5. 病弱教育における合理的配慮

～合理的配慮の概念整理と病気のある子どもの教育支援ガイドの紹介を含めて～

講師：国立特別支援教育総合研究所研究企画部長（兼）上席総括研究員 新平鎮博

合理的配慮の観点について説明するとともに、「病気の子どもの教育支援ガイド（試案）」の内容について紹介した。教育的ニーズがどのように「合理的配慮」と関係するかを紹介しながら、特別支援学校、特別支援学級だけでなく、通常の学級に在籍する児童生徒を含めて、病気のある子どもの合理的配慮について講義を行った。

6. 英国のこどものホスピスとわが国のスペシャルキッズケア（民間難病支援）

講師：大阪市立総合医療センター小児神経科 副部長 岡崎 伸

英国オックスフォードで誕生した民間難病支援（慈善活動）である「こどものホスピス」活動の歴史と日本におけるその展開について概説し、病気の子どもとその家族に対する民間における支援の実際についての啓発が行われた。

7. “命”に向き合う子ども達の心理支援

講師：大阪大学病院子ども医療センター チャイルドライフスペシャリスト 馬戸史子

子ども達が抱えうる「死」に関わる不安、「命」の意味を問う情緒的葛藤に寄り添う援助を、治癒的遊び（Therapeutic play）を主な媒体として実践するチャイルドライフスペシャリストの実際について講義が行われた。

8. 教育現場での整形外科的疾患

講師：大阪大学理事・副学長 整形外科学教授 吉川秀樹

平成 28 年 4 月 1 日より、児童生徒の定期健康診断にて、運動器の検査が必須項目とされ、大人になって問題となる運動器疾患をチェックすることを基本としながら検診が実施されるようになった。上記のような現状を踏まえ、教育現場において知っておくべき運動器疾患と障がいに対する理解について講義が行われた。

9. 病弱教育基礎論

講師：帝京平成大学 教授 横田雅史

日本における病弱教育の歴史的な流れについて概説し、病弱教育の重要性と今後の課題について改めて確認した。治療と並行して教育を受けている場合に予後が良いという現場の実感について触れながら、病弱教育の意義について講義が行われた。

〈2016 年 8 月 2 日〉

10. 子どものけいれんと教育現場での対応

講師：プール学院大学教育学部 教授 永井利三郎

てんかんの有病率は 1% とわれ、決してまれなものではなく、通常の学校でも複数の子どもが在籍していることが多い。そのような現状を踏まえ、てんかん発作の種類について理解を深めると同時に発作中～発作後の対応等について講義が行われた。

11. 発達障がいの子どもの理解と対応

講師：関西医科大学総合医療センター 小児科診療部長 石崎優子

発達障がいの中でも特に自閉スペクトラム症と注意欠如・多動症の理解と教育現場での対応、医療的な対応について講義が行われた。子どもの特性を理解した上での周囲の配慮やちょっとした対応の工夫で社会適応が改善することも多いことが強調された。

12. 学校で配慮すべき心疾患とそのポイント

講師：大阪大学医学系研究科小児科学 講師 小垣滋豊

心疾患についての理解と対応について学校現場における実際の事例を挙げながら講義が行われた。リスク面だけを捉えて子どもに不要な制限を強いるのではなく、また、見かけが元気だからと守るべき制限を軽視しないようにするためにも正しい理解が必要であるという点が強調された。

以上、全体の講義概要である。

なお 7 月 31 日実施の本学担当講師による講座概要を以下のとおり掲載する（※1、2、3）

I 特別支援教育の現状と課題

講師：教育学部 教授 小田浩伸

「特別支援教育の現状と課題」をテーマに、次の 5 つの観点から特別支援教育を解説するとともに、「読み・書き」等の学習面に困難がある児童生徒の疑似体験も取り入れて、講義と演習形式で実施した。

1 学校における合理的配慮と基礎的環境整備の課題

「障害者差別解消法」に基づく、学校における合理的配慮と基礎的環境整備の基本的な考え方と、インクルーシブ教育システムの構築に向けた特別支援教育の役割と課題について解説した。

3 多様なニーズのある子どもの理解と支援


多様なニーズとして、発達障がいとその可能性のある子ども、虐待が起因している可能性のある子ども（愛着に課題のある子ども）、認知面・知的発達に課題のある子どものニーズとその支援方法について解説した。

4 安心できる集団づくり－仲間の成長を互いの喜びにする集団づくり－

「安心して学べる集団づくり」のために教員としてどのようなことに努めていくべきか、子どもどうしをつないでいくための工夫について具体的に例示した。

5 共感からはじまる「わかる」授業づくり

子どもたちが「わかる」授業のためのナチュラルサポート（ユニバーサルデザイン）の観点として、次の 12 項目を例示しながら解説した。加えて、「わからない」ことに困っている子どもの疑似体験をする演習も取り入れて講義した。

- ① 教室環境を確認する（机の並び方、落ちているもの、収納状況、掲示物等）。
 - ② 教科書、ノート等、必要なもののみを机の上に置いているか確認する。
 - ③ 授業のめあてを書き（貼る）、本時のポイントを明確に示す。
 - ④ 全員が静かになったことを確認してから話し始める習慣をつける。
 - ⑤ 板書を工夫する（板書の量・書く位置、区切り線をつける、色の配慮等）。
 - ⑥ 今は、「聞くとき」「書くとき」「話すとき」を区別し、同時に提示しない。
 - ⑦ 大切な指示や内容ポイント等の大事なところは、何度か繰り返して説明する。
 - ⑧ 視覚的に示すことができる教材・教具を多用する。
 - ⑨ 生徒の努力や取組みをほめる機会を多くつくる。
 - ⑩ 本時のポイントを復唱し、まとめ、振り返りを行う。
 - ⑪ 授業の中で何度かリスタートの場面をつくる。
 - ⑫ 全体への説明や指示はできるだけシンプルにする。
- 
- An illustration showing a teacher standing at the front of a classroom, pointing to a whiteboard. Three students are seated at desks, looking towards the teacher. One student has their hand raised. The scene is depicted in a simple, cartoonish style.

II 障がいのある子どもの心理学的理解

講師：教育学部 講師 本吉大介

特別支援教育の対象となる児童・生徒の特長を挙げるうえで様々な観点があります。例えば医学的な観点では ADHD（注意欠如・多動症）は不注意と多動性および衝動性が特徴であり、基準に沿って診断されます。教育学的には家庭や学校のような日常生活場面での知識やスキルの未獲得や適応の不全として表現されてきます。そして心理学的には、人の持つ心理特性の量によって子どものことを理解しようとしていると私は考えています。そこで、教員免許状更新講習では障がいのある子どもを心理学的に理解するための 5 つの観点について説明しました。本稿では 2 つの観点に絞って説明します。

① 内発的動機づけ

内発的動機づけとは活動動機（目的もなく大声を出し、飛び回るなど活動すること自体が快体験となるために生じる動機）や感性動機（視覚や聴覚など感覚刺激を求める動機）、好奇動機（新しい刺激を求める動機）、操作動機（何かものを扱い、操作したいという動機）、認知動機（考えたり、知識を得たいという動機）のような種類があります。内発的動機づけが高いということは学びの意欲が自分の中から出てくるという意味で大変良いことですが、しばしば、学校内で多動・衝動的に行動している子どもたちの特徴として内発的動機が高すぎて協調的に

行動することが難しいという特徴があります。子どもたちの内発的動機づけを少しでも満たせるような活動的で魅力的な授業であれば、自分勝手な行動にはつながらずに学びのリーダーとなれます。また、学年が上がってくると、他者の意見の中に魅力的な考えが含まれているというを経験的に学ぶと、他者の意見を積極的に聞き、議論ができるようになっていきます。

②想像力

想像力とは与えられた情報を抽象化して広げたり応用したりする力（概念化）や関連させて考える力（推論）、未知の状況に対して現状・過去の経験・未来予測を勘案して適切な行動を導き出す力（見通し）などがあります。知的障がいのある子どもや自閉スペクトラム症のある子ども、推論の難しい学習障がいのある子どもは想像的に考えることが難しく、学習や適応が難しくなることがあります。「ちゃんとしなさい」、「自分で考えなさい」「みんなはどうしてる？」のような曖昧な言葉では適応的な行動が促されない場合には背景に想像力の課題があることがあります。子どもが自発的に想像力を発揮するために、目で見てわかる視覚情報（絵や写真、行動のモデル）や具体的な指示が効果的です。また、同じような場面で間違いを繰り返す場合には過去の学びを応用できていない可能性もあります。今向かっている課題や場面と過去の学習をどのように結び付けたいのかを具体的に伝えていくことが有効です。

特別支援教育の中では“障がいがある／ない”という二分法で“支援をする／しない”という検討がなされている場面に時々出会います。しかし、これからは類型論ではなく特性論的な考え方で子どもをアセスメントし、“支援する／しない”という議論ではなく、すべての子どもは何らかの指導・支援を必要としているという前提に立ち“どの程度するのか”ということが議論されることが望まれていると私は考えています。

Ⅲ 発達障害の医学的理解と支援

講師：教育学部 教授 落合利佳

アメリカ精神医学会が 2013 年に出版した DSM-5 から発達障害領域の主な変更点について解説を行った。これにより、広汎性発達障害、アスペルガー障害などの病名から自閉症スペクトラム障害／自閉スペクトラム症（以下 ASD）にまとめられたことをはじめ、ASD、注意欠如多動性障害／注意欠如多動症（以下 ADHD）を中心に医学的理解と支援について解説を行った。

ASD では、ウイングの提唱した自閉症スペクトラム障害の概念を「三つ組」（社会性の障害、コミュニケーションの障害、イマジネーション障害）と感覚の問題を中心に、また、ASD にみられる 3 つのタイプ（受動型・積極奇異型・孤立型）の特徴と課題、氷山モデルを用いた問題行動（周囲は困っている行動）の理解と対応および環境が与える影響について解説を行っ

た。障害特性からくる得意・不得意を理解した上での支援の重要性と視覚支援の実際、職業選択・進路の問題まで幅広い内容を取り扱った。

ADHD では症状（多動・衝動性・不注意）と 3 つのタイプ、QOL・自己肯定感の低下、不適切な対応からくる二次障害の問題について解説し、対策として環境整備などの工夫について説明した。

ASD は高頻度で脳波異常を呈し、実際に就学・思春期にてんかんを発症してくるケースも多く、問題行動などに対して投薬を行うケースも少なくない。また、ADHD においても、本人の努力や環境整備などでは対応しきれず、多くのケースで薬物療法を受けている。これらの小児精神科領域で使用する薬物の作用、副作用、内服中の注意点についても解説を行った。

ASD や ADHD を含む発達障害を抱える児童は特に叱るよりは褒めることでのびるタイプの子供達であり、一人一人に合った支援を行うために、障害特性の理解は基本となる。また、できないことでなく、できることに注目することが重要であり、適切な支援によって能動的な活動が期待でき、モチベーションや QOL の向上へとつながることを心に留め日々の指導に生かしていただきたい。

(2) 「幼児教育講習」

「幼児教育講習」は本学の教員が講師となり 8 月 2 日に富田林キャンパスにて実施。

①カリキュラム等



平成28年度 大阪大谷大学 免許状更新講習

「幼児教育講習」の案内

大阪大谷大学では、平成28年8月3日（水）教員免許状更新講習(選択領域)として「幼児教育講習」を開設いたします。本学の専門知識豊富な講師陣により、障害をもつ子どもを含めた幼児に対する深い理解、保育内容の充実、指導方法の開発、保護者・家庭への支援について実践的な内容を提供します。

… 講習の概要 …

開設期間	平成28年8月3日（水）		
会場	大阪大谷大学（〒584-8540 富田林市錦織北3-11-1） 最寄り駅：近鉄長野線 滝谷不動駅		
講習領域	〔選択領域〕「受講者が任意に選択して受講する領域」		
担当講師	小田 浩伸（大阪大谷大学教育学部 教授） 長瀬 美子（大阪大谷大学教育学部 教授） 地下 まゆみ（大阪大谷大学教育学部 准教授）		
時間数	6時間	受講料	6,000円
受講者募集期間	平成28年6月16日（木）～ 平成28年7月8日（金）必着	受講予定者数	60名
主な受講対象者	幼稚園教諭（他校種の先生も受講可能）		
履修認定時期	平成28年9月5日（月）まで		
申込方法	様式1ー幼と様式2をダウンロードして必要事項を記入し、82円切手（2枚種以上受講する場合は92円）を貼付した長形3号の返信用封筒（郵便番号・住所・氏名を明記）を同封のうえ、郵送で下記の問い合わせ先にお申し込みください。		
備考	※必要書類に不備がある方は、受講できません。 受講申込をしていただき、受講可能となった方には、本学より申込書に記載の住所宛に受講票を送付いたします。 ※定員に達した場合は申し込み期間中でも募集を停止させていただきます。 なお、応募者が定員を上回った場合は①本学卒業生、②幼稚園教諭に該当される方を優先させていただきます。 ※募集開始以前に申込書をお送りいただいても、受付いたしませんのでご了承ください。 ※募集開始日着でご送付ください。 ※受講料お振込後の返金はできませんので、ご了承ください。		

大阪大谷大学 教職支援課			
〒584-8540 大阪府富田林市錦織北3丁目11-1			
Tel	0721-24-9891	Fax	0721-24-9892
E-mail	kyoushoku@osaka-ohtani.ac.jp/		

大阪大谷大学「幼児教育講習」カリキュラム

平成 28 年 8 月 3 日（水）

8 月 3 日（水）		会場：大阪大谷大学
時間	カリキュラム	
9:10～	受付	
9:30	開講式	
9:50～11:30	講義Ⅰ 「多様なニーズのある子どもの理解と支援 ～ナチュラルサポートをめざして～」 【3-208教室】 講師 小田 浩伸 氏（大阪大谷大学 教授）	
11:30～12:30	昼食・休憩	
12:30～14:10	講義・演習Ⅱ 「子どもの感性を育む自然体験活動」 【3-208教室】及び 屋外（校内） 講師 地下 まゆみ 氏（大阪大谷大学 准教授）	
14:10～14:20	休憩	
14:20～16:00	講義Ⅲ 「求められる就学前教育・保育のあり方 一気づく・考える経験を大切に」 【3-208教室】 講師 長瀬 美子 氏（大阪大谷大学 教授）	
16:10～16:20	休憩	
16:20～17:20	筆記試験	

②講義概要

I 多様なニーズのある子どもの理解と支援～ナチュラルサポートをめざして～

講師：教育学部 教授 小田浩伸

幼稚園に在籍する多様なニーズのある子どもの理解と支援のあり方について、～ナチュラルサポートをめざして～」をテーマに、次の4つの観点から解説するとともに、視覚や聴覚過敏のある子ども、集中できない子どもの疑似体験を取り入れて、講義と演習形式で実施した。

1 多様なニーズのある子どもの現状と課題について

2 気づきから、具体的支援へ -ともに学び・ともに育つ保育をめざして-

多様なニーズとして、発達障がいの基本理解に関すること、子どもが困っていることに気づく観点（言動、描画、興味の特徴等）、及び、気づきから具体的支援につないでいく方法等について解説した。また、「困った子」ではなく「困っている子」として捉えるための疑似体験を随所に取り入れて行った。

3 安心できる集団づくり -ナチュラルサポートをめざして-

「安心して遊んだり、学べる集団づくり」のために教員や周りの大人がモデルとなる言動を示していく必要性和、その方法について解説した。

4 自己肯定感を高める「わかる保育」の工夫

子どもたちが育ち合う保育におけるナチュラルサポートのポイントの観点として、資料の 12 項目を例示しながら解説した。加えて、子どもの困り感を実感する疑似体験を取り入れて講義した。

II 子どもの感性を育む自然体験活動

講師：教育学部 准教授 地下まゆみ

幼児期は、最も心の動く時期である。そのため、多様な色や形がある豊かな環境での活動である自然体験は、幼児期の子どもの心を大いに揺さぶってくれる。子どもたちは植物や昆虫、動物の名前を知るといった知識の習得だけに捉われることなく、自分の視覚、聴覚、触覚、嗅覚、味覚の五感を通して様々な自然体験をすること、他者とその体験を共有することが重要である。自然の変化を感じ、自然と遊び、心が動かされることにより、子どもたちの自然に対する興味・関心につながり、豊かな感性が育まれる。

幼児期からの環境教育について、国立教育政策研究所教育課程研究センターの環境教育指導資料〔幼稚園・小学校編〕には、環境教育として幼児期から育てたいこととして、次の 3 点が記されている。

- (1) 自然に親しみ、自然を感じる心を育てる
- (2) 身近な環境への好奇心や探究心を培う
- (3) 身近な環境を自らの生活や遊びに取り入れていく力を養う

幼児期の子どもの五感を発達させる風のそよぎや、雨や土、木々や草花など、いろいろなものの違いを肌で感じとる体験、人や自然とかかわる体験が、子どもたちの感性を豊かにする。水遊びをしたり、泥団子をつくったり、虫や魚をつかまえたり、友だちと夢中になって鬼ごっこをして風を感じて走り回るなど、実際にからだを動かして人や自然と関わることによって、自然を親しみ、身近な環境に好奇心を持ち、自然と共に育つことができ、この時期の経験が環

境教育として重要となる。子どもの感性の豊かな発達には自然での遊びは欠かすことができず、自然の中で子どもたちがからだのすみずみまで動かす機会を、大人はたくさん保障することが必要である。幼児期の子どもと関わる幼稚園教諭として安全面への配慮、有毒植物や有毒動物の知識や草花遊びやどんぐり遊びなどの身近な自然を用いた遊びの知識を持つだけでなく、子どもたちの五感を刺激する遊びを展開できる技術が必要となる。ネイチャーゲームのアクティビティのひとつである『カモフラージュ』の活動は大人になると苦手である昆虫を題材としており、子どもも大好きな活動である。子どもと自然体験活動を実施する際、知識や技術を教えるだけでなく、『その時』に子どもが感じたことに共感することを大切に活動に取り組むことが教員として重要である。

Ⅲ 「求められる就学前教育・保育のあり方—「考える」「気づく」経験を大切に

講師：教育学部 教授 長瀬美子

幼児期の学びは、以下のような特徴をもっている。それは、①生活に内在する学び、②自分の身の回りにある、身近なものを対象とした学び、③体験を通した学び（五感で感じる、実感できる）、④「驚き」や「発見」のある学びである。これは、幼児期と児童期の発達課題のちがいであり、それぞれの時期にふさわしい教育や学びが重要である。

1. 就学までに形成したい力と「考える」「気づく」経験

就学までに形成したい力として重視すべきことは、学ぶことに期待をもち、前向きで、最後までやり遂げようとする子どもを育てることであり、「できる - できない」ではなく、「何だろう?」「おもしろそう」「やってみよう」「知りたい」をしっかり育てることである。

基本的に、子どもたちは、考えること、探究することが好きであり、子どもの周りには「魅力的な対象」が数多く存在する。しかし放っておけば「思考」「発見」が生まれるわけではない。幼児期にふさわしい学びが生まれるためには、①興味や関心がふくらむ・知りたい気持ちが高まる対象があること、②興味・関心が生まれたとき、それを確かめる手段があること、③その子どもなりの「思考」「発見」が生まれたとき、聞いてくれて共感してくれる人がいることが不可欠である。

だからこそ、子ども自身が「考える」「気づく」につながる活動を行うには、①保育者がその価値を理解し、大切にしていること、②保育者が視点をもって意図的・計画的に用意すること、ことばをかけること、③意外性を含んでいることが大切なのである。

2. 「考える」「気づく」を促し、楽しくなる環境づくり

「考える」「気づく」を促し、楽しくなる環境づくりにおいて重要なことは以下の3点である。

①そのものを十分に楽しめるようにすること

秋の自然物を制作活動につなげるだけでなく、十分に「見る」「さわる」ことを大切にすること。

②各自が自ら働きかけることができること

子どもたち一人ひとりのペース、アプローチの仕方が許されることが大切である。

③他者の「発見」「気づき」にふれる機会をつくること

各自での活動に終わらず、他者の「発見」「気づき」にふれる機会を設定することが大切である。他児のやっていることを見たり、発見したことを発表し合うなどの活動が考えられる。

④保育者に多い「十分すぎる準備」

保育者は、子どもが活動しやすいように準備し過ぎてしまう傾向がある。大切なことは、「考える」「気づく」を引き出すように準備をすることである。

3. 保育者に求められること

保育者が、①保育の中で付けた力が、どのように就学につながるか、つながってほしいか見通すこと、②意識をもって、計画的に保育すること、③「保育で大切にしていることが、就学につながる」と保護者に語れることが大切である。

(3) 学校教育講習

「学校教育講習」は本学の教員が講師となり 8 月 3 日に富田林キャンパスにて実施

①カリキュラム等



平成28年度 大阪大谷大学 免許状更新講習 「学校教育講習」の案内

大阪大谷大学では、平成28年8月4日（木）教員免許状更新講習（選択領域）として「学校教育講習」を開校いたします。本学の専門知識豊富な講師陣により、障害のある子どもを含めた児童に対する深い理解と授業力の向上のための実践的な内容を提供します。

… 講習の概要 …

開設期間	平成28年8月4日（木）		
会場	大阪大谷大学（〒584-8540 富田林市錦織北3-11-1） 最寄り駅：近鉄長野線 滝谷不動駅		
講習領域	（選択領域）「受講者が任意に選択して受講する領域」		
担当講師	藤村 裕爾（大阪大谷大学教育学部 特任教授） 竹本 封由之進（大阪大谷大学教育学部 教授） 竹歳 賢一（大阪大谷大学教育学部 講師）		
時間数	6時間	受講料	6,000円
受講者募集期間	平成28年6月16日（木）～ 平成28年7月8日（金）必着	受講予定者数	60名
主な受講対象者	小学校教諭（他校種の先生も受講可能）		
履修認定時期	平成28年9月5日（月）まで		
申込方法	様式1-学と様式2をダウンロードして必要事項を記入し、82円切手（2校種以上受講する場合は92円）を貼付した長形3号の返信用封筒（郵便番号・住所・氏名を明記）を同封のうえ、郵送で下記の問い合わせ先にお申し込みください。		
備考	※必要書類に不備がある方は、受講できません。 受講申込をしていただき、受講可能となった方には、本学より申込書に記載の住所宛に受講票を送付いたします。 ※定員に達した場合は申し込み期間中でも募集を停止させていただきます。 なお、応募者が定員を上回った場合は①本学卒業生、②小学校教諭に該当される方を優先させていただきます。 ※募集開始以前に申込書をお送りいただいても、受付いたしませんのでご了承ください。 ※募集開始日着でご送付ください。 ※受講料お振込後の返金はできませんので、ご了承ください。		

大阪大谷大学 教職支援課 〒584-8540 大阪府富田林市錦織北3丁目11-1 Tel : 0721-24-9891 : Fax : 0721-24-9892 : E-mail : kyoushoku@osaka-ohitani.ac.jp/
--

大阪大谷大学「学校教育講習」カリキュラム

平成 28 年 8 月 4 日（木）

8 月 4 日（木）		会場：大阪大谷大学
時間	カリキュラム	
9:30	受付・開講式	
9:50～11:30	講義Ⅰ 「子どもの主体的な学びを育む授業づくり（小学校算数科） ーアクティブ・ラーニングによる教材・教具づくりを通してー 【3-208教室】 講師 藤村 裕爾 氏 （大阪大谷大学 教授）	
11:30～12:30	昼食・休憩	
12:30～14:10	講義・演習Ⅱ 「図画工作科教育→何が変わったか？ 何が同じか？」 【3-208教室】 講師 竹本 封由之進 氏 （大阪大谷大学 教授）	
14:10～14:20	休憩	
14:20～16:00	講義・演習Ⅲ 「21世紀型学力とは？～数学教育の視点から～ 【3-208教室】 講師 竹歳 賢一 氏 （大阪大谷大学 講師）	
16:10～16:20	休憩	
16:20～17:20	筆記試験	

②講義概要

I 子どもの主体的な学びを育むと授業づくり

ーアクティブ・ラーニングによる教材・教具づくりを通してー

講師：教育学部 特任教授 藤村裕爾

【1】講習のねらい

次期学習指導要領のキーワードの一つであるアクティブ・ラーニングについて、図形領域の学習で実際に操作活動をしながら、「問題解決型の学習」「協働的な問題解決学習」を体験的に

学ぶ。

[2] 講習の概要

- (1) アクティブ・ラーニングが求められる背景と内容 (図 1)
- (2) 小学校四年生算数科「単元 直方体・立方体」

① 立体図形の指導のポイント (図 2)

- 「空間概念」や「図形的直感力」の育成
- そのためには、操作活動・言語活動が重要!
- 「構成要素」(頂点・辺・面)に着目
- 立体図形 (3 次元) ⇔ 平面図〈見取図、展開図、投影図〉(2 次元)
←念頭で行き来させる

② 授業の展開例

❖ 正方形のプラスチック板を用意し、テープで繋いだり分解したりしながら、展開図⇔立方体の操作を行い、試行錯誤を促す。

1. 念頭で、立方体の展開図考える。

- 最も多いと想定される展開図を 5 つ程度、抽出する。
- ワークシートを提示し、発表する。
- 実際に色板を組み立てさせて OHC で、発表する。

2. 5 つの展開図をよくみて、共通点を見つける。

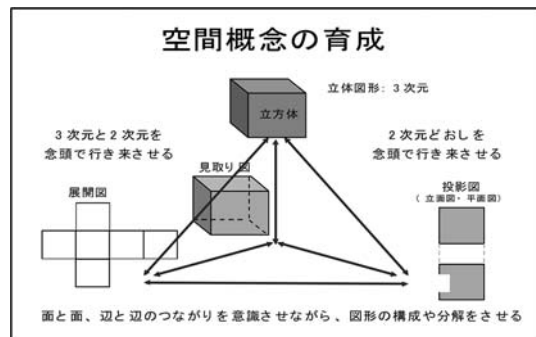
- 図形の構成要素 (面の数、面の形、面のつながり方、辺) に着目し、考える。
「どこに目をつけて、共通点を見つけようと思いますか。」

3. 展開図のどの辺とどの辺が、元の立方体では 1 本の辺になっていたのか。

iii) 切り開く前の立方体を思い浮かべながら、プリントの 5 つの展開図の辺を同じ色で塗り



(図 1)



(図 2)

4年生「立方体の展開図」

確かめる

● 立方体の展開図は、全部で11通りあり、どれもきまりは当てはまることを知る

振り返る

● 個々に異なる自分の学びを表出させる。(自分の方法で)

今日の学習で分かったことを、ノートにまとめなさい。

(図 3)

分ける。

4. きまりを見つける (図3)

II 図画工作科教育→何が変わったか？何が同じか？

講師：教育学部 教授 竹本封由之進

小学校の図画工作科には、他教科にはない特徴があります。例えば、「50 m を何秒で走れるか？」などと速さを求める教科が多いですが、図画工作科では「ゆっくり心を込めて線を引きなさい」などという場面が多々あります。「10 分間で何問計算問題が解けるか？」と量を求める教科も多いですが、「一つでも気に入った色が作れるか？」と、質を求めます。「シャープのファはこの指使いでないと出せないよ」と正解が1つという教科が多いですが、一人一人違うことを良しとします。それ以外にも違いの多い教科ですが、その特徴を本稿で再確認し、普段の授業に活かしていただきたいと思います。

図画工作科で伸ばしたい能力

新しい学習指導要領が提案されたようですが、現行の学習指導要領の目標は『表現及び鑑賞の活動を通して、感性を働かせながら、つくりだす喜びを味わうようにするとともに、造形的な創造活動の基礎的な能力を培い、豊かな情操を養う。』となっています。この目標の言葉から、他教科の目標と重複している言葉を消していくと、『つくりだす喜び』『造形的な創造活動』が残ります。極論を言えば、この2つが図画工作科でしか経験させられない特徴です。新しい学習指導要領でも、確認するようにしてください。

では、一般的に「評価」(評定)とされている指導要録についても考えてみたいと思います。ご存知の通り、図画工作科の評価項目は『造形への関心・意欲・態度』『発想や構想の能力』『創造的な技能』『鑑賞の能力』の4つです。この4観点で通知表の項目を構成している学校も多いので、普段から意識して評価されていることでしょう。しかし、指導に基づく評価をされているでしょうか？指導と評価は表裏一体で、学習指導を行った結果、どれだけ成長できたかを評価します。また、できたことはさらに伸ばすような指導、できていないことはできるようになるまで次の指導で繰り返すなど、行ったり来たりの関係です。図画工作科の授業で、『発想や構想の能力』を伸ばすような指導がなされているでしょうか？『鑑賞の能力』を育てるための評価はなされているのでしょうか？

ここでは、実際の図画工作科の授業に関して再確認の観点をいくつか示したいと思います。

○図画工作科の2つの領域の1つである『B 鑑賞』をきちんと指導できていますか？

- 友人の表現の良い点を見つけられる子に育つよう、学習目標に沿った観点を鑑賞させませ

んか？

- アートゲームなど、美術作品に慣れ親しむ活動を取り入れてみませんか？
- もう一つの領域『A 表現』で、『造形遊び』を半分程度の重要性を意識して行っていますか？
- 造形経験の個人差は、かなり広がっています。差を埋めるべく造形遊びに取り組みませんか？
- 『A 表現』の残り半分の一部である「絵に表す」で、学年の目標に則した題材を扱っていますか？
- 見て描く授業で、思い込みから脱却し気づきにつながるような流れを考えてみませんか？
- 想像して描く授業で、創造する方法を指導する授業も考えてみませんか？

他にも「木工作や土粘土の焼成はしているか？」「紙の目や木目などの理論的なことも教えているか？」などいくつかありますが、まとめると「教科書をよく読み、まずは教科書通り実践してみましょう」ということになります。今の教科書はよくできています。その題材を実践しながら、教科の特徴を生かし、何を教えて何を評価するかを常に意識して図画工作科の授業に取り組んでもらいたいと思います。

Ⅲ 「21 世紀型学力とは？～数学教育の視点から～」

講師：教育学部 講師 竹歳賢一

1. 目的

グローバル化、少子高齢化、知識基盤社会、第四次産業革命など社会の変化の中で子ども達はこれから逞しく生きていかななくてはならない。子ども達が大人になる頃には、現在の職種の 65% が人工知能の発展などのため失われると予想されている。このような社会の変化に対応するために、明治以来の教育改革が必要であるとの声が上がっている。また、新しい時代に必要な資質・能力の育成を目指した新学習指導要領が小学校では 2020 年から全面実施される。以上のことを踏まえ、21 世紀型学力について数学教育の観点を交えながら、これからの学校教育に必要な視点について具体例を示し明らかにする。

Key Word: 21 世紀型学力 新学習指導要領 アクティブ・ラーニング プログラム教育

2. 方法

前半を講義形式、後半を演習形式で講習を行った。

講義

① 21 世紀の社会について

グローバル化、少子高齢化、知識基盤社会、第四次産業革命 など

② 21 世紀型学力について

イノベーション型、生きる力、暗記習得からの脱却、思考型の学習の重視 など

③ 新学習指導要領

子どもに必要な「資質・能力」の 3 つの柱の育成⇒「何ができるようになるか」「何を学ぶか」「どのように学ぶか（アクティブ・ラーニング）」

④ アクティブ・ラーニングについて

定義、背景、思考力・判断力・表現力の育成、実践事例（数学教育）

演習

プログラミング教育

① 小学校でプログラミング教育必修化（2020 年から）について

② Scratch を利用したプログラミング演習

オブジェ型プログラミングの体験

(4) 中学・高等学校教育講習

「中学・高等学校教育講習」は本学の教員が講師となり 8 月 4 日に富田林キャンパスにて実施

①カリキュラム等



平成28年度 大阪大谷大学 免許状更新講習

「中学・高等学校教育講習」の案内

大阪大谷大学では、平成28年8月5日（金）教員免許状更新講習(選択領域)として「中学・高等学校教育講習」を開設いたします。本学の専門知識豊富な講師陣により、障害のある子どもを含めた生徒に対する深い理解と授業力の向上のための実践的な内容を提供します。

… 講習の概要 …

開設期間	平成28年8月5日（金）		
会場	大阪大谷大学（〒584-8540 富田林市錦織北3-11-1） 最寄り駅：近鉄長野線 滝谷不動駅		
講習領域	（選択領域）「受講者が任意に選択して受講する領域」		
担当講師	村尾 敏彦（大阪大谷大学人間社会学部 教授） 宇都宮 啓吾（大阪大谷大学文学部 教授） 笹川 博司（大阪大谷大学教育学部 教授）		
時間数	6時間	受講料	6,000円
受講者募集期間	平成28年6月16日（木）～ 平成28年7月8日（金）必着	受講予定者数	60名
主な受講対象者	中学校教諭、高等学校教諭（他校種の先生も受講可能）		
履修認定時期	平成28年9月5日（月）まで		
申込方法	様式1ー中高と様式2をダウンロードして必要事項を記入し、82円切手(2枚種以上受講する場合は92円)を貼付した長形3号の返信用封筒（郵便番号・住所・氏名を明記）を同封のうえ、郵送で下記の問い合わせ先にお申し込みください。		
備考	※必要書類に不備がある方は、受講できません。 受講申込をしていただき、受講可能となった方には、本学より申込書に記載の住所宛に受講票を送付いたします。 ※定員に達した場合は申し込み期間中でも募集を停止させていただきます。 なお、応募者が定員を上回った場合は①本学卒業生、②中学校教諭、高等学校教諭に該当される方を優先させていただきます。 ※募集開始以前に申込書をお送りいただいても、受付いたしませんのでご了承ください。募集開始日着でご送付ください。 ※受講料お振込後の返金はできませんので、ご了承ください。		

大阪大谷大学 教職支援課 〒584-8540 大阪府富田林市錦織北3丁目11-1 Tel ☎ 0721-24-9891 ☎ Fax ☎ 0721-24-9892 ☎ E-mail ☎ kyoushoku@osaka-ohtani.ac.jp/

大阪大谷大学「中学・高等学校教育講習」カリキュラム

平成 28 年 8 月 5 日（金）

8 月 5 日（金）		会場：大阪大谷大学
時間	カリキュラム	
10:00	受付・開講式	
10:20～12:00	講義・演習Ⅰ 「〈リレイショナル・アート+演劇〉ワークショップ」 【3-208教室】及び【3-105教室】 講師 村尾 敏彦 氏 （大阪大谷大学 教授）	
12:00～13:00	昼食・休憩	
13:00～14:40	講義Ⅱ 「命名をめぐる問題（定家「ていかorさだいえ」・現代の命名） 一言葉と社会との関連を考えるー 【3-208教室】 講師 宇都宮 啓吾 氏 （大阪大谷大学 教授）	
14:40～14:45	休憩	
14:45～16:25	講義・演習Ⅲ 「古典の面白さをどう伝えるか ー討論やコミュニケーションを通して深める 【3-208教室】 講師 笹川 博司 氏 （大阪大谷大学 教授）	
16:25～16:30	休憩	
16:30～17:30	筆記試験	

②講義概要

I 〈リレイショナル・アート+演劇〉ワークショップ

講師：人間社会学部 教授 村尾敏彦

「4つのコーナー」という10分間のアイスブレイクのあと、講習参加者にリレイショナル・アートのワークを体験していただいた。参加者ひとりずつが「思い出の服」というテーマで絵を描き、さらに、その絵を他の参加者に見せて、「思い出の服」である理由を説明した。

次に、村尾が講義形式でパワーポイントを使ってリレイショナル・アートについて解説し

た。リレーショナル・アートという概念が生まれる契機を作ったのは、フランスのキュレーターであるニコラ・ブリオである。ブリオは 1990 年代に創造されたアート作品群の展示のさいに、この概念を提示した。ブリオは『関係性の美学』という著書で、以下のような主張をしている。現在のアートの課題は、世界との関係を生み出すことであり、アートの役割は、現実の中での生き方や行為のモデルになることである。関係性の美学はアートの理論でなく、出会いという形式の理論である。芸術実践は、意識の間の関係を作り上げることであり、作品は、分かち合われた世界でともに生きましようという提案であり、まるで新生児が母親にするように、人のまなごしを捉えようとする。さらに、リクリット・ティラヴァーニヤ、小沢剛、リー・ミンウェイなどのアーティストによるリレーショナル・アートの実例を画像で見たのち、日本でのリレーショナル・アートの新しい展開として、新潟の大地の芸術祭、瀬戸内国際芸術祭などの地域アートについて紹介した。

次に、教室を移動して、演劇的ワークショップを行った。平易なシアター・ゲームのあと、数名のグループに分かれ、グループごとに、リレーショナル・アートのワークで出来上がった「思い出の服」の絵の中から一つを選んだ。そしてその絵から、それぞれのグループが演劇的シーンを創作して演じた。

ふりかえりとして、2 時間のワークショップについての感想を、参加者ひとりずつ話していただいた。最後に、リレーショナル・アートとワークショップの類縁性について触れて、講習を終えた。

II 命名をめぐる問題（定家「ていか or さだいえ」・現代の命名）

一言葉と社会との関連を考えるー

講師：文学部 教授 宇都宮啓吾

近年、様々な視点から名前（命名）に関わる問題に注目されている。そこで、本研修においては、命名に関わる問題として、次の 2 点に関して説明を行なった。

1 点目は、なぜ教科書等において、「藤原定家」の「定家」の読み方に「ていか」・「さだいえ」の 2 つが併記されるのかという問題について、鎌倉時代成立の説話集『古今著聞集』の第 562 話を題材に、①公式な名乗り（読み方）は訓読されるべきものであったこと、②それにも関わらず、一般には音読されることがあり、それは、その人物に敬意を払って公式な名乗りをばはかる意識に基づくことを紹介した。つまり、「定家」の読み方に 2 種類が存する理由として、公式の名乗りは「さだいえ」であるが、当代一流の歌人として尊敬される人物であったために「ていか」と音読され、それが通称として広まったことにある。このような事例から、古典作品の時代における名前を巡る意識について解説した。

2 点目は、明治安田生命のサイト「生れ年別名前ランキング」(http://www.meijiyasuda.co.jp/enjoy/ranking/year_men/index.html) における 100 年間の名前の推移を手懸かりに、名前と社会との関わりについて説明をした。その中において、①戦時下の男性名「勝・勇・進・勝利」から終戦時の「稔・和夫・豊」といったランキングの変化が社会と関わる命名であること、②男性名は社会で活躍することを願う名前（「翔・博・大」等の字を含む）や強さ・健康・誠実さ等の属性と関わる名前（「剛・健・誠」等の字を含む）、女性名は「貞・幸・和・恵」や「美・愛」といった家庭的・個人的幸せ・かわいらしきや美しさ等の属性に関わる名前が多く、命名に性差の存すること、③その一方で、近年においては、男性名における「悠真・蓮・朝陽」のように、属性に変化の存すること、つまり、子に対して求められる属性の変化（例えば、男性名の漢字使用の「剛」（強さ）→「悠」（安らかさ）」を窺わせること、④欧米においては性差の見出しにくい中性的な名前が増加傾向にあることが指摘されており、日本においても、その傾向が漢字使用において若干は認められるが、未だ顕著な傾向には至っていないこと等を説明した。このように、名前を巡って、単に流行りの名前や変わった名前に関心を持つのではなく、名前から窺えるジェンダーの問題や親世代の意識（子供の将来や属性に何を望むか）、社会と家庭との関わりをどのように捉えるかといった視点を解説した。

以上、本研修においては、身近な「名前」を題材に、言葉から社会や生活を見つめ直すきっかけとして解説を行った。

Ⅲ 「古典の面白さをどう伝えるかー討論やコミュニケーションを通じて深める」

講師：教育学部 教授 笹川博司

「中学・高等学校教育講習」第Ⅲ講目は、和歌を教材としたアクティブラーニングを行った。受講者は 10 名。講習の狙いとしては、講義形式から現在求められている生徒が主体的に学ぶアクティブラーニングの方法を例示することと、日本人が長く親しんできた古典文学の伝統的文芸の重要な柱である和歌についての教養を深めてもらうこと、の 2 点に定めた。

まず、教材の和歌として、次の独詠歌 4 首、贈答歌 2 組を示した。そして、これらの和歌を読み、その背景にどのような事情が読み取れるか、どんな場面で詠まれた歌と想像されるかを考えましょう、と発問した。

- 1 風吹けば沖つ白浪たつた山 夜半にや君がひとり越ゆらむ
- 2 わが心なくさめかねつ 更級や姨捨山に照る月を見て
- 3 みな人は花の衣になりぬなり 苔の袂よ 乾きだにせよ
- 4 安積山影さへ見ゆる山の井の あさくは人を思ふものかは
- 5 年を経て住みこし里を出でていなば いとど深草 野とやなりなむ

返し

野とならば鶉となりて鳴きをらむ かりにだにやは君は来ざらむ

6 あしからじとてこそ人に別れけめ なにか難波の浦にしも住む

返し

君なくてあしかりけりと思ふには いとど難波の浦ぞ住み憂き

参考として、小学校国語の学習指導要領を示し、「書くこと」の項目では、1年・2年「想像したことなどを文章に書くこと」、3年・4年「身近なこと、想像したことなどを基に、詩をつくったり、物語を書いたりすること」、5年・6年「経験したこと、想像したことなどを基に、詩や短歌、俳句をつくったり、物語や随筆などを書いたりすること」という目標があり、「伝統的な言語文化と国語の特質」の項目では、3年・4年「易しい文語調の短歌や俳句について、情景を思い浮かべたり、リズムを感じ取りながら音読や暗唱をしたりすること」、5年・6年「語感、言葉の使い方に対する感覚などについて関心をもつこと」などの目標が掲げられていることを確認した。

隣同士で話し合うか、グループで話し合うか、さらに想像力を高め、歌物語を創作して発表するか、などの方法があるが、受講者や時間の制約から、隣同士で話し合ってもらい、想像したことを発表してもらった。その後、それぞれの和歌に触発されて、昔の日本人が紡ぎ出した物語－『伊勢物語』『大和物語』の該当章段の歌物語－を紹介した。

最後に、本講習で学んだことと、それを今後の教育活動でどう生かすかということ、この2点を記してもらい、講習を終えた。

以上、平成 28 年度実施の概要を取りまとめた。なお各講座最終日には受講生には必ず試験が実施された。また受講評価書の提出が文部科学省より義務づけられており（受講者評価結果は文部科学省 HP に掲載されている。）受講生の評価はほぼ良好な結果となっている。

【報告】

平成 28 年度

「大阪大谷大学教職教育センター」活動報告

教職教育センター

I. 平成 28 年度

1. 文部科学省実地視察について

平成 28 年 12 月 19 日 10:00~16:00 文部科学省による「教職課程認定大学の実地視察」が行われた。

実地視察委員は中央教育審議会初等中等教育分科会教員養成部会委員 3 名、大阪府教育委員会担当者 1 名、文部科学省 事務官 2 名の計 6 名、大学側は尾山学長、藤村教職課程委員長他課程委員の教員及び大学事務局長、教務課長及び教職支援課事務担当者の計 15 名が出席した。

以下 5 点の視察事項について、教職課程認定基準等に基づき、必要な法令等の基準を満たし、適切な教職課程の水準にあるかどうかの確認がなされた。

- 1) 教育課程及びその履修方法
- 2) 教員組織
- 3) 施設・設備（図書等を含む。）
- 4) 教育実習の実施状況
- 5) 学生の教員免許取得状況・教員への就職状況

まず、視察日までの早い段階で各種調査票等の提出が求められ、視察当日は事前に提出した調査票や文部科学省よりあらかじめ示される「視察事項（案）」に沿って質疑応答が行われた。また、「教職に関する科目」の見学があり、使用テキスト等資料については事前準備し提出した。施設見学では教職教育センター、図書館、博物館、ウエルネスセンター、音楽館の見学があった。実地視察を終え、視察委員の先生方からは、暖かい助言を頂くことが出来た。本学の教職課程の更なる充実に向け、努力を重ねる所存である。

2. 組織および配置

平成 28 年度の教員、職員の配置は次のとおりである。

教員：センター長（兼務） 1 名
 センター教員（兼務） 3 名
 教職教育担当特任教授 2 名

職員：教職支援課 課長補佐 1 名、係長 1 名、課員 1 名
 派遣職員 3 名（合計：専任 3 名、派遣 3 名）

センター長および、教職教育担当特任教授の業務内容も変更なく運営に携わっていただいた。

教職教育センター室の開室時間

平成 21 年度	平日	9:00～17:30
	土曜	9:00～12:30
平成 22～28 年度	平日	9:00～11:20 12:20～17:30
	土曜	9:00～12:30

II. 業務内容

1. 教職支援課の役割

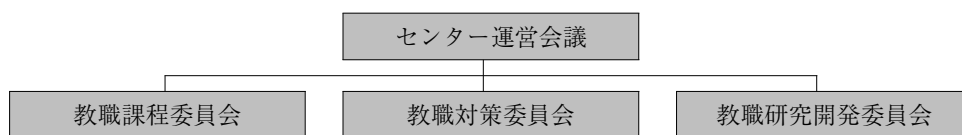
教員免許状を取得するには、教職課程をはじめ、免許状取得に必要な科目の履修が必要である。履修登録時の履修相談に始まり、前年度の内諾から始まる教育実習の事務的な手続きや、教職実践演習や履修カルテに関する業務、教員免許状の申請に関する業務等に携わっている。

教職に就くためには、学力だけでなく学校現場で必要な実践力が不可欠である。教職支援課は、教職を目指す学生に対して、入学後早い段階で、大学の授業や自学自習だけでは補えない実践力を養うために学校現場を訪問する行事として「教師のお仕事入門」を実施し、「学校支援学生ボランティア」や授業である「インターンシップ」等への参加を推奨している。現場を数多く体験することで、教師として必要な資質能力を深め、教師になる夢を達成するまで継続した支援を行っている。

その他、年間を通して各種行事を計画し、タイムリーな情報提供や各種対策講座を行い学生の知識と実践力の向上及びモチベーション維持を図っている。

2. 委員会

教職教育センター運営会議をはじめ教育職員養成課程委員会、教職対策委員会、教職研究開発委員会を 3 本柱にしてセンターを運営している。



教職課程委員会

第 1 回

日時：平成 28 年 4 月 13 日（水）12 時 20 分～12 時 50 分

場所：第一会議室

議題：教職課程委員長選出について

平成 28 年度の教育実習等（訪問担当）について

教育実習に係る誓約書について

平成 28 年度免許更新講習実施について

平成 28 年度教職課程予算について

第 2 回

日時：平成 28 年 7 月 20 日（水）12 時 20 分～13 時 00 分

場所：教職センター会議室

議題：文部科学省による教職課程認定大学等実地視察について

教育実習懸案事項について

第 3 回

日時：平成 28 年 10 月 5 日（水）18 時 00 分～19 時 00 分

場所：第一会議室

議題：平成 29 年度の教職課程科目名の変更について

平成 29 年度の免許状更新講習について

教育実習、介護等体験の課題について

第 4 回

日時：平成 28 年 10 月 26 日（水）12 時 20 分～13 時 00 分

場所：第一会議室

議題：教職実践演習の履修について

（キャリア教育科目）教職基礎演習の取扱いについて

第 5 回

日時：平成 29 年 2 月 1 日（水）14 時 30 分～16 時 30 分

場所：第一会議室

議題：文部科学省実地視察報告と対応について

平成 29 年度教職課程規程変更について

平成 28 年度「教育実習」及び「介護等の体験実習」の課題について

教育実習の誓約書 について（継続案件）

教職対策委員会

第 1 回

日時：平成 28 年 4 月 13 日（水）12 時 20 分～13 時 00 分

場所：第一会議室

議題：教職対策委員長選出について

教授説明会（大阪府、大阪市、堺市、豊能地区）について

教員採用試験「大学推薦」について

第 2 回

日時：平成 28 年 7 月 27 日（水）12 時 20 分～13 時 00 分

場所：センター会議室

議題：夏季休業中教員採用試験指導体制について

「教職基礎演習」の成績評価について

第 3 回

日時：平成 28 年 10 月 5 日（水）18 時 20 分～19 時 00 分

場所：第一会議室

議題：教職基礎演習の履修方法について

教員採用試験途中結果報告について

第 4 回

日時：平成 29 年 2 月 1 日（水）14 時 30 分～16 時 30 分

場所：第一会議室

議題：平成 29 年度「教職基礎演習」の運営方法について

平成 30 年度教員採用試験にかかる大学推薦基準について

教職研究開発委員会

第 1 回

日時：平成 28 年 4 月 14 日（木）16 時 20 分～16 時 40 分

場所：センター会議室

議題：委員長・副委員長の選出

第 2 回

日時：平成 28 年 11 月 10 日（木）13 時 00 分～13 時 20 分

場所：センター会議室

議題：平成 28 年度 教職教育センター紀要第 8 号について

3. 教職課程・教育実習・介護等の体験

《教職課程》

平成 28 年度入学生

文学部日本語日本文学科、歴史文化学科、教育学部教育学科、人間社会学部人間社会学科、スポーツ健康学科の 3 学部 5 学科および教育専攻科、大学院文学研究科日本文学専攻、文化財学専攻の 2 専攻に教職課程が設けられている。

本学で取得できる免許状

学部…幼稚園教諭一種免許状、小学校教諭一種免許状、中学校教諭一種免許状（国語・外国語（英語）・社会・保健体育）、高等学校教諭一種免許状（国語・外国語（英語）・地理歴史・公民・保健体育・福祉）、特別支援学校教諭一種免許状（領域：知的障害・肢体不自由・病弱）、

専攻科…幼稚園教諭専修免許状、小学校教諭専修免許状、中学校教諭専修免許状（国語・外国語（英語））

大学院…中学校教諭専修免許状（国語・社会）、高等学校教諭専修免許状（国語・地理歴史）

《教育実習》

教育実習に行く前年度に、教育実習内諾オリエンテーションを実施し出席する人数等で教育実習を希望する学生数を把握している。平成 25 年度から平成 27 年度の人数は表 1 のとおりである。（「教育実習生数」には、科目等履修生を含む。）

表 1 内諾オリエンテーションおよび教育実習生数一覧

年度	校種	内諾オリエンテーション出席者数※	教育実習生数
25 年度 実習	幼稚園	103	96
	小学校	102	128
	中・高等学校	162	130
	特別支援学校	110	104
	計	477	458
26 年度 実習	幼稚園	119	111
	小学校	104	94
	中・高等学校	172	149
	特別支援学校	97	94
	計	492	448

平成 28 年度「大阪大谷大学教職教育センター」活動報告

27 年度 実習	幼稚園	115	107
	小学校	118	114
	中・高等学校	165	126
	特別支援学校	58	54
	計	456	398
28 年度 実習	幼稚園	113	106
	小学校	108	106
	中・高等学校	165	123
	特別支援学校	50	45
	計	456	380

※実習前年度に実施

《介護等の体験》

介護等の体験では、毎年問題点が浮上しており、それらの問題点を考慮し、オリエンテーションでの事前指導方法等は改善を重ねてきた。平成 28 年度は、前年同様に施設での体験 1 か月前「直前オリエンテーション」に加え、支援学校の「直前オリエンテーション」を実施し、支援学校での心構えや子どもと関わる際の注意点を再度確認した。

しかし、依然としてオリエンテーションの内容を理解しないまま体験に行き、施設や支援学校へご迷惑をかける場合があるため、引き続き「介護等の体験」意義や内容理解に重点を置き指導に努めていきたい。

表 2 介護等の体験者数

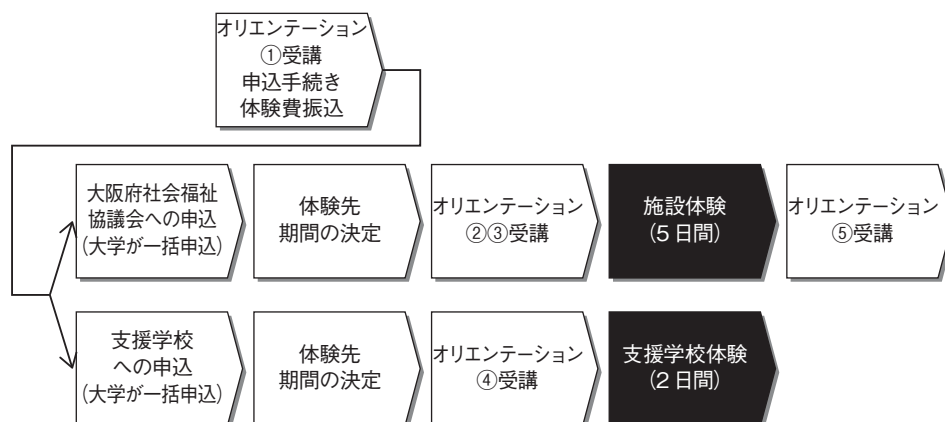
	学科	申込者数		終了者数※	
		前期	後期	前期	後期
平成 25 年度	日本語日本文学科	4	9	4	9
	英米語学科	5	11	5	10
	文化財学科	9	7	7	7
	教育福祉・教育学科	26	116	23	113
	人間社会学科	11	60	8	58
	科目等履修生	0	2	0	2
	計	55	205	47	199
平成 26 年度	日本語日本文学科	10	11	10	10
	英米語学科	1	0	1	0
	文化財学科	1	2	1	2
	教育福祉・教育学科	3	96	3	94
	人間社会学科	2	2	1	2
	スポーツ健康学科	0	64	0	57
	科目等履修生	0	2	0	2

平成 28 年度「大阪大谷大学教職教育センター」活動報告

	計	17	177	16	167
平成 27 年度	日本語日本文学科	3	13	2	7
	文化財学科	1	5	1	4
	教育福祉・教育学科	8	73	8	65
	人間社会学科	14	2	9	1
	スポーツ健康学科	14	50	7	44
	科目等履修生	0	0	0	2
	計	40	143	27	123
平成 28 年度	日本語日本文学科	2	2	19	16
	文化財・歴史文化学科	3	3	15	14
	教育学科	5	4	105	100
	人間社会学科	0	0	10	6
	スポーツ健康学科	2	2	49	45
	科目等履修生	0	0	1	1
	計	12	11	199	182

※…施設 5 日間、支援学校 2 日間両方の体験終了者数

平成 28 年度「介護等の体験オリエンテーションの流れ」



4. 免許状更新講習

平成 28 年度も例年通り 4 講習を実施した。講習概要等は特集ページに掲載。

表 3 免許状更新講習参加者数

年度	講座名	領域	実施日	時間	定員	受講者数
平成 24 年度	特別支援教育講座	選択	8月3日(金)～7日(火)	18	50	57
	幼児教育講習	選択	8月6日(月)	6	60	17
	学校教育講習	選択	8月7日(火)	6	60	21
		選択	8月8日(水)	6	60	8
	計					103
平成 25 年度	特別支援教育講座	選択	8月2日(金)～6日(火)	18	50	44
	幼児教育講習	選択	8月5日(月)	6	60	13
	学校教育講習	選択	8月6日(火)	6	60	4
	中学・高等学校教育講習	選択	8月7日(水)	6	60	4
	計					65
平成 26 年度	特別支援教育講座	選択	8月1日(金)～5日(火)	18	50	50
	幼児教育講習	選択	8月4日(月)	6	60	33
	学校教育講習	選択	8月5日(火)	6	60	12
	中学・高等学校教育講習	選択	8月6日(水)	6	60	7
	計					102
平成 27 年度	特別支援教育講座	選択	7月31日(金)、8月1日(土)、8月3日(月)	18	50	53
	幼児教育講習	選択	8月4日(火)	6	60	20
	学校教育講習	選択	8月5日(水)	6	60	7
	中学・高等学校教育講習	選択	8月6日(木)	6	60	10
	計					90
平成 28 年度	特別支援教育講座	選択	7月30日(土)、8月1日(月)、8月2日(火)	18	50	52
	幼児教育講習	選択	8月3日(水)	6	60	25
	学校教育講習	選択	8月4日(木)	6	60	6
	中学・高等学校教育講習	選択	8月5日(金)	6	60	10
	計					93

5. 大阪大谷大学教職教育センター紀要

「大阪大谷大学教職教育センター紀要」第8号を発行することとなる。

Ⅲ. センター独自のプログラム

センターでは、教員免許を取得するだけにとどまらず、教員に求められる資質を身につけ、学校現場へ送り出すために一貫した学生就職支援を実施している。

具体的には、「実践力向上プログラム」として、1. 教師のお仕事入門 2. 学校支援学生ボランティア 3. 教育インターンシップ 4. 現場実践経験基礎講座があり、人間力を磨く機会

となっている。また、「筆答対策プログラム」として、5. キャリア教育科目 6. 基礎学力向上講座（通称：タニ☆スタ 6） 7. 教員採用試験対策講座（長期休業期間中実施） 8. タニスパ・タニスポ 9. DVD 講座があり、教員に必要な知識と専門性を高めるための支援を行っている。

その他、各種行事や実技対策講座等を通じ、最新の教育情報を提供している。

1. 教師のお仕事入門

「教師のお仕事入門」は、学校現場を訪問し、児童・生徒との交流を目的とする行事で、例年近隣の小学校、中学校、高等学校にご協力いただき実施している。

H 28 年度実施学校——

H 28. 6. 8（水） 彼方小学校

H 28. 9. 6（火） 富田林高等学校

H 28. 9. 13（火） 錦織小学校

H 28. 9. 14（水） さつき野小学校、さつき野中学校

H 28. 9. 15（木） 河南高等学校

H 29. 2. 8（水） 河南高等学校

H 29. 2. 9（木） さつき野小学校、さつき野中学校

2. 学校支援学生ボランティア

学校現場で先生の補助や児童・生徒の授業支援を行うもので、1 回生から参加することが可能である。活動に際しては、事前・事後の研修を課し、学生たちへ先生としての心構えを指導するとともにモチベーションの維持を図っている。

平成 28 年度は 91 名のボランティア登録があり、3 月 1 日に修了式がおこなわれた。

3. 教育インターンシップ

教育実習に行く前に学校現場を体感することで、スムーズに教育実習へと臨むことが出来るように設定された正科目で、2 回生以上の学生が履修できる。教育現場を知ることで、自分の課題を見つけ、課題を克服し、実践力向上へとつなげている。

平成 28 年度 教育インターンシップⅠ 修了者 208 名

教育インターンシップⅡ 修了者 13 名

4. 現場実践経験基礎講座（公開講座）

この講座では、現職教員、指導主事等の講師をお招きし、学校現場の現状を講義していただ

いている。授業は公開とし、現場経験の少ない学生にとって、実践的指導力を身につける貴重な機会と考えている。今年度の「現場実践経験基礎講座」は、表 4 のとおり実施した。

表 4 平成 28 年度「現場実践経験基礎講座」一覧

	月日	テーマ	講師	科目
1	5月6日(金)	大阪の子どもたちの生徒指導上の課題と取り組み	芳野 和宏	学校教育演習Ⅱ
2	5月20日(金)	大阪の子どもたちの学力の現状と課題及び取り組み	加納 啓司	学校教育演習Ⅱ

5. キャリア教育科目

教員として必要とされる教養や実践力を身につけるための正課授業として、平成 28 年度は表 5 の科目が設置され、各科目ごとに其々の目標を定めた内容の演習講義を設けて、小グループによる継続的な学習を行った。

表 5 キャリア教育科目

科目名称	期	対象学年	内容
教職基礎演習 (教職教養)	後	2年以上	教職教養に関する基礎的な内容を小グループに分かれ、学習(演習)します。教職教養対策の第一歩となります。
	前	3年以上	教職教養に関する基礎的な内容を小グループに分かれ、学習(演習)します。(前年度後期の内容を引き継ぐものです。)
	後	3年以上	教職教養に関する予備知識を備えた者を対象とし、小グループに分かれ、演習形式で授業を行います。(前期の内容を引き継ぐものです。)
	前	4年	教職教養に関する予備知識を備えた者を対象とし、小グループに分かれ、演習形式で授業を行います。(前年度後期の内容を引き継ぐもので、教員採用試験直前期の対策です。)
教職基礎演習 (一般教養)	後	2年以上	一般教養(数学、理科、英語、全般)に関する基礎的な内容について、学びたい教科を限定し、学習(演習)します。
	前	3年以上	一般教養に関する基礎的な内容について、学びたい教科を限定し、学習(演習)します。(前年度後期の内容を引き継ぐものです。)
	後	3年以上	一般教養に関する予備知識を備えた者を対象とし、学びたい教科を限定し、演習形式で授業を行います。(前期の内容を引き継ぐものです。)
	前	4年	一般教養に関する予備知識を備えた者を対象とし、学びたい教科を限定し、演習形式で授業を行います。(前年度後期の内容を引き継ぐもので、教員採用試験直前期の対策です。)
教職基礎演習 (ICT教育) (面接)	後	2年以上	ICT教育・面接に関する基礎的な内容について、学びたい教科を限定し、学習(演習)します。
	前	3年以上	ICT教育・面接に関する基礎的な内容について、学びたい教科を限定し、学習(演習)します。(前年度後期の内容を引き継ぐものです。)
	後	3年以上	ICT教育・面接に関する予備知識を備えた者を対象とし、学びたい教科を限定し、演習形式で授業を行います。(前期の内容を引き継ぐものです。)
	前	4年	ICT教育・面接に関する予備知識を備えた者を対象とし、学びたい教科を限定し、演習形式で授業を行います。(前年度後期の内容を引き継ぐもので、教員採用試験直前期の対策、および学校現場を想定した対策です。)
教職基礎英語	後	2年以上	教員採用(一般教養)試験で問われる英語の基礎力の向上を目指します。平易な英文の文法事項を確認しながら、内容を正確に把握できる力を養います。
	前	3年以上	教員採用(一般教養)試験で頻出の文法事項を確認しながら、正確に問題を読み解く力を養います。前年度後期の内容を引き継ぐものです。

平成 28 年度「大阪大谷大学教職教育センター」活動報告

教職文章表現	前	3年以上	教育に関する小論文を作成し、文章表現力の向上を図ります。
教職基礎社会	後	3年以上	教員採用（一般教養）試験で問われる社会に必要な知識を量・質ともに高め、正確に問題を読み解く力を養います。
教育 インターンシップⅠ	通	2年以上	学校現場の教育活動に接し、実際の課題をより理解することを通じて、教職への意欲を高めます。夏期・春期のいずれかの休業期間を利用し、3～5日間の実習を行います。
教育 インターンシップⅡ	通	3年以上	学校現場の教育活動に接し、実際の課題をより理解することを通じて、教職への意欲を高めます。年間32時間以上の実習が必要です。
学校教育演習Ⅰ	後	3年以上	教員採用選考テストの面接で何が問われるのか・自分のどこが教員に向いているのか。自己分析を基に教員としての適性を見極め、面接官に分かりやすく自分を表現する力を身に付けます。
学校教育演習Ⅱ	前	4年	合言葉は、「敵を知り、己を知れば、百戦殆うからず」。教員採用選考テストの面接の実態を学び、様々な面接練習を通じて、学校現場で必要とされる教師としての対応力を身に付けます。

6. 『基礎学力向上講座』

教員に求められる知識の育成と向上を目指し、平成 25 年度より行っている「基礎学力向上講座」（学内通称名「タニ☆スタ 6」）を引き続き平成 28 年度も実施した。

なお、6 限目に補講が設定されることが増えたため、補講出席による講座欠席者対応として、昨年度より該当する講座を録画して希望者には空き時間に学習可能となるように措置を講じている。また大阪府の教員採用試験の一次筆答試験が教職教養に特化していることに対応し、教職教養クラスのさらなる充実を図った。加えて、今年度より試験内容に加えられた「判断力・思考力を問う問題」に対応できるよう「大阪府、大阪市、堺市、豊能地区対策クラス」を 2 クラス設置した。

表 6 平成 28 年度タニ☆スタ 6 受講者数

学科名	クラス	A	B	C	D	E	F	G	計
	学年								
日本語 日本文学科	4							1	1
	3			2	1				3
	2			1	1	3	2		7
	1					1	4		5
文化財学科 歴史文化学科	4								0
	3				3				3
	2				1				1
	1					4	15		19
教育学科	4	19	16					20	55
	3			6	7	4	0	1	18
	2			6	19	11	12	1	49
	1			8	2	26	26		62

人間社会学科	4	1	2					2	5
	3			2	3		1		6
	2						2		2
	1					4	3		7
スポーツ健康学科	4	4	12	2	1			9	28
	3		1	8	1	1			11
	2			1	8	1	7		17
	1	1				2	4		7
合計		25	31	36	47	57	76	34	306

7. 教員採用試験対策講座（長期休業期間中実施）

長期休業期間を利用して実施する短期集中の講座。教員採用試験の頻出問題を中心とした教材を用いて、押さえるべきポイントを学ぶ講座。この講座をきっかけとして各自の弱点を見つけ、今後の学習につなげることを目的としている。

8. タニスパ・タニスポ

i-pad を利用し、教員採用試験の過去問題を解説したビデオを視聴学習できるシステム。空き時間を利用しての学習が可能であるため、クラブ活動やボランティア活動との両立をする人にとって、有効な学習方法の一つとなっている。

9. DVD 講座

教員採用試験の頻出領域の解説が収録された DVD を視聴し、学習する方法。タニスパ・タニスポと同様、時間を有効活用できる学習方法の一つである。

IV. 行事報告

センターで実施する行事は、前年度末に翌年度 1 年間分の行事を計画するが、全国的に教員採用試験の要項発表が早くなり、加えて平成 28 年度より大阪府、大阪市、堺市、豊能地区の一次試験の日程が早まったことから行事についても前倒しをおこなった。

夏期一斉休業中の教職教育センターの開室も引き続き実施した。

今年度の行事で、特記する行事を以下のとおりまとめた。

1. チャレンジテスト対策講座

平成 26 年から始まった「大阪府教員チャレンジテスト」について、1、2 回生の学習意欲を

高め、学習習慣を身につけさせるために、教員を目指す学生への受験を促している。

対策として、教職教養の初歩的な内容を押さえ、基礎的な問題に対応できる力を身につけることを目標に 9 月初旬から中旬の授業開始直前の 5 日間の日程で講座を実施した。

表 7 チャレンジテスト対策講座 参加者人数

学年	平成 26 年度					平成 27 年度					平成 28 年度				
	1	2	3	4	計	1	2	3	4	計	1	2	3	4	計
参加者数	7	40	41	1	89	8	32	35	1	76	3	35	16	0	54

また、直前には、教職教育センター長が学習のポイントと学習方法を中心とした講座を実施した。受講申込者数は 90 名。日程と内容は表 8 のとおり。

表 8 大阪府教員チャレンジテスト直前対策講座

	日程	時限	内容
1	10 月 17 日 (月) (予備日 10/26 (月))	5 限 (6 限)	ガイダンス、
2	11 月 2 日 (水)	5 限	教育関連法規
3	10 月 30 日 (金)	6 限	答申・通知
4	11 月 16 日 (水)	6 限	服務規律

次年度以降も充実した内容が継続するよう、学生への呼びかけを怠らず、講座を実施したいと考えている。

2. 実技対策講座

平成 28 年度は 6 月末から水泳練習を開始し、例年通り器械体操やボール運動の対策も合わせて行った。また、4 回生以外の学生へも参加可能とした。日程と参加者数は以下の通りである。

表 9 体育実技対策講座 参加者

	日程	時限	参加者数	
			4 回生	4 回生以外
1	6 月 28 日 (火)	5 限	5	0
2	8 月 5 日 (金)	1・2 限	35	2
3	8 月 6 日 (土)	1・2 限	26	4
4	8 月 8 日 (月)	1・2 限	29	2

3. 教師塾（教員採用試験）面接・エントリーシート対策講座

教師塾入塾選考が年々加熱しているため入塾対策を早める必要があり、年度末の春期休業中に教職オリエンテーション「エントリーシート対策」を実施。

日時：①平成 29 年 2 月 22 日（水）2 限 参加者数 50 名程度

②平成 29 年 3 月 1 日（金）2 限 参加者数 30 名程度

4. 新たな取り組み

以前より人間社会学部生を対象に教職教育センターの紹介をおこなっているが、今年度は教育学部で基礎ゼミ I、II の時間を利用し学生に教職教育センターの紹介と、加えてゼミ単位の少人数でのセンター見学もおこなった。1、2 年生で今までセンターを訪れたことのない学生が、実際にセンター内を見学し各種ツールを体験することで、教職に対する意欲が高まったようである。以降、センター主催の講座等への照会も増えた。

ここに挙げた以外の行事実施状況は、次頁表 10 のとおりである。

以上、平成 28 年度の教職教育センター事業活動をまとめた。

平成 29 年度も、センター教職員一同新たな気持ちで、教職を目指す学生の支援を一層充実させていきたいと願っている。

表 9 教師塾合格者数

各自治体教師塾	平成 26 年度合格者数	平成 27 年度合格者
大阪教志セミナー	23	22
大阪市教師養成講座	6	5
堺教師ゆめ塾	15	10
奈良県ディアティーチャープログラム	0	4
その他自治体	1	0
合計	45	41

平成 28 年度「大阪大谷大学教職教育センター」活動報告

表 10 平成 28 年度 教職教育センター 年間行事一覧

	月	日(曜)	時間	行事名	内容	
新年度 オリ	4	オリ 期間中		新入生対象オリエンテーション	教職教育センターの利用案内&行事について	
				2~4回生教職課程履修者・履修予定者対象 オリエンテーション	教職教育センターの利用案内・行事・教職課程履修上の注意	
教育実習 (予定者)	H28 年度実習	5日(火)	14:00-15:30	直前オリエンテーション(幼)	実習の必要書類配付と説明	
		4	20日(水)	4限 14:40-16:10	直前オリエンテーション(中・高)	実習の必要書類配付と説明
			20日(水)	5-6限 16:20-19:30	直前オリエンテーション(特支)	実習の必要書類配付と説明 直前の注意
		27日(水)	5限 16:20-17:50	直前オリエンテーション(小)	実習の必要書類配付と説明	
		H29 年度実習 (予定者)	4	13日(水)	4限 14:40-16:10	内諾オリエンテーション(中・高)
	5		11日(水)	4限 14:40-16:10	内諾オリエンテーション(特支)①	次年度実習のための希望調査
	7		20日(水)	5限 16:20-17:50	内諾オリエンテーション(特支)②	実習校の発表とリーダーの選出
	9		28日(水)	5限 16:20-17:50	内諾オリエンテーション(特支)③	「教育実習依頼書」についての説明
	7		6日(水)	5限 16:20-17:50	内諾オリエンテーション(小)	次年度実習のための内諾手続きについて(内諾冊子の配付・説明)
			13日(水)	5限 16:20-17:50	内諾オリエンテーション(幼)	次年度実習のための内諾手続きについて(内諾冊子の配付・説明)
介護等の 体験	H28 前期	4	16日(土)	1・2限 9:00-12:10	介護等の体験オリエンテーション②	現在の福祉現場について 実習上の注意事項
		6	15日(水)	5限 16:20-17:50	介護等の体験オリエンテーション④	特別支援教育について
			18日(土)	1限 9:00-10:30	介護等の体験オリエンテーション④ <予備日>	
	H28 後期	4	8日(金)	2限 10:40-12:10	介護等の体験オリエンテーション①	学校教職課程と「介護等の体験」実習 申し込み手続きについて
			16日(土)	3限 13:00-14:30	介護等の体験オリエンテーション① <予備日>	
		9	14日(水)	1・2限 9:00-12:10	介護等の体験オリエンテーション②	現在の福祉現場について 実習上の注意事項
	H29 前期	9	14日(水)	3限 13:00-14:30	介護等の体験オリエンテーション①	学校教職課程と「介護等の体験」実習 申し込み手続きについて
		10	1日(土)	1限 9:00-10:30	介護等の体験オリエンテーション① <予備日>	
	免許状 申請	11	9日(水)	5限 16:20-17:50	教員免許状一括申請説明会	平成28年3月免許状取得見込み予定の4回生・専攻科生・大学院生対象 教職職員免許状授与申請書の配付と説明
	教職オリ エンテー ション	1 回生	6	7日(火)	昼休 12:15-12:55	1回生 教職オリエンテーション 学校の先生になりたい人へ
12			6日(火)	昼休 12:15-12:55	1回生 教職オリエンテーション	どんな勉強をするの?
2 回生		5	31日(火)	昼休 12:15-12:55	2回生 教職オリエンテーション 教職を目指すにあたって	小・中・高・特支・政令指定都市の幼 勉強の進め方、資質の向上について講義
		10	12日(水)	5限 16:20-17:50	2回生 教職オリエンテーション 教職を目指すにあたって	小・中・高・特支 勉強の進捗チェックおよび資質の向上について講義
3 回生		5	14日(土)	3限 13:00-14:30	3回生 教職オリエンテーション 教職を目指すにあたって	学習方法・情報収集について 幼稚園を除く全校種 外部講師による講演
		10	5日(水)	5限 16:20-17:50	3回生 教職オリエンテーション 筆記試験対策を中心に	<小・中・高・特支・政令指定都市の幼> 教員採用試験の傾向と対策 次年度の採用試験に向けて、外部講師による講演
		11	30日(水)	5限 16:20-17:50	3回生 教職オリエンテーション 教員採用試験対策	秋から始める勉強について 教員採用試験体験談(4回生との交流)
		1	11日(水)	5限 16:20-17:50	3回生 教職オリエンテーション 教員採用試験情報 一般・教職教養対策を中心に	次年度の教員採用試験に向けての最新情報と対策 外部講師による講演(有料講座の募集案内を含む)
		2	未定	未定	3回生 教職・幼稚園オリエンテーション 教員・幼稚園教員の魅力と採用試験について	卒業生との懇談会 有料講座の日程に併せて実施
幼稚園 オリ エンテー ション		1・ 2 回生	6	28日(火)	昼休 12:15-12:55	1・2回生 幼稚園・保育所オリエンテーション 幼稚園教員・保育士を目指すにあたって
	11		16日(水)	5限 16:20-17:50	2回生 幼稚園・保育所オリエンテーション 幼稚園教員・保育士を目指すにあたって	幼稚園教員・保育士希望者対象 勉強の進捗チェックおよび資質の向上について講義
	3 回生	12	16日(金)	昼休 12:15-12:55	1回生 幼稚園・保育所オリエンテーション	勉強の進め方、資質の向上について講義
		5	17日(火)	昼休 12:15-12:55	3回生 幼稚園・保育所オリエンテーション 幼稚園教員・保育士を目指すにあたって	学習方法・情報収集について (私立幼稚園を含む)
		27日(金)	昼休 12:15-12:55	3回生 幼稚園・保育所オリエンテーション 幼稚園教員・保育士を目指すにあたって <予備日>	(注)予備日は開講しないこともあります。	
		11	2日(水)	5限 16:20-17:50	3回生 幼稚園・保育所オリエンテーション 幼稚園教員・保育士採用試験対策	秋から始める勉強について 教員採用試験体験談(4回生との交流)
全	10	26日(水)	5限 16:20-17:50	幼稚園・保育所・福祉施設ガイダンス	採用試験に向けての学習対策 外部講師による講演(就職と合同実施)	
お仕事 入門	5	未定	未定	1回生 教師のお仕事入門(小学校)	授業見学&児童との交流 グループに分かれて、教室を訪問	
	7	未定	未定	1回生 教師のお仕事入門(小学校)	授業見学&児童との交流 グループに分かれて、教室を訪問	
	9	13日(火)	11:00~	1回生 教師のお仕事入門(小、中、高等学校)	授業見学&児童・生徒との交流 グループに分かれて、教室を訪問	
	2	未定	未定	1回生 教師のお仕事入門(小学校・中学校・高等学校)	授業見学&児童・生徒との交流 グループに分かれて、教室を訪問	

平成 28 年度「大阪大谷大学教職教育センター」活動報告

	月	日(曜)	時間	行事名	内容			
4 回生 対象 教員 採用 試験 対策 講座	実 技	6-	随時	随時	4回生 教員採用(幼稚園含む) 特別対策講座 図画工作・音楽実技・小論文・体育実技・他	(事前申し込み制) 詳細は、教職教育センター窓口及び掲示もしくはHPにてお知らせ		
		4	25日(土)	4限 14:00-15:30	4回生 教員採用試験 筆記対策講座	小・中・高・特支・政令指定都市の幼 直前対策 外部講師による講演		
	筆 記	5	20日(水)	4限 14:40-16:10	4回生 幼稚園教員採用試験 筆記対策講座	幼稚園教員希望者 直前対策 外部講師による講演		
		7	1日(水)	4限 14:40-16:10	4回生 教員採用試験 特別支援教育対策講座	採用試験で押さえておくポイントについての講義		
		4	14日(火)	4限 14:40-16:10	4回生 教員採用試験 面接対策講座	面接・エントリーシート対策 志望動機・自己PRのつくりかた		
			24日(金)	5限 16:20-17:50	4回生 教員採用試験 面接対策講座 <予備日>			
		5	19日(火)	4限 14:40-16:10	4回生 教員採用試験 面接対策講座	エントリーシート・面接対策(主に集団面接) 注意と心得及び自己PR		
			22日(金)	5限 16:20-17:50	4回生 教員採用試験 面接対策講座 <予備日>			
		6	24日(水)	4・5限 14:40-17:50	4回生 教員採用試験 面接対策講座 実践編	模擬面接(集団・個人)・集団討論対策 心得及び実践		
			7	1日(水)	5限 16:20-17:50	4回生 教員採用試験 面接対策講座 実践編	模擬面接・集団討論 自己PR・志望動機・現場での課題等について最終確認	
			29日(水)	4・5限 14:40-17:50	4回生 教員採用試験 面接対策講座 二次編	模擬面接(個人)・集団討論・模擬授業対策等 講義及び実践 二次試験対策		
		6-	随時	随時	4回生 面接・グループワーク練習 (集団・個人・討論・模擬授業等)	(事前申し込み制) 詳細は、教職教育センター窓口及び掲示もしくは、HPにてお知らせ		
		8-	随時	随時	4回生 面接・グループワーク練習 (個人・模擬授業・場面設定・討論等)	(事前申し込み制) 模擬面接・模擬授業・集団討論対策 (一次試験合格者対象)		
		教 師 塾 対 策 講 座	説 明 会	1	1日(金)	昼休 12:15-12:55	3・4回生 大阪市教師養成講座説明会	大阪市教育委員会担当講師による説明
				5	8日(金)	昼休 12:15-12:55	3回生 大阪教志セミナー説明会	大阪府教育委員会担当講師による説明
	12日(火)			昼休 12:15-12:55	3・4回生 堺・教師ゆめ塾説明会	堺市教育委員会担当講師による説明		
対 策 講 座	4		18日(土)	午前	3・4回生 教師塾対策講座	各教育委員会が主催する教師塾に入塾するための対策 申込書作成についての説明		
	5		2日(土)	午前	3・4回生 教師塾対策講座	各教育委員会が主催する教師塾に入塾するための対策 先輩のお話を聞き面接やエントリーシート作成の説明及び模擬授業		
	2		24日(水)	2限 10:40-12:10	2・3回生 教師塾対策講座	各教育委員会が主催する教師塾に入塾するための対策 志望動機、自己PRのつくりかた、面接の心得について講義		
	3		2日(水)	2限 10:40-12:10	2・3回生 教師塾対策講座			
講 師 登 録 説 明 会	9		29日(火)	5限 16:20-17:50	4回生 講師登録説明会	講師の採用について 概要説明と登録の方法について説明		
	10		30日(金)	5限 16:20-17:50	4回生 講師登録説明会 <予備日>			
教 採 学 内 セ ミ ナ ー	4		10日(金)	午後	4回生 教採学内セミナー <大阪府・大阪市・豊能地区>	(事前申し込み制) 教育委員会講師による説明会 各自自治体の教員採用試験について、直接説明を聞くことができます		
	5	15日(水)	昼休 12:15-12:55	川崎市教員採用試験説明会	教育委員会による説明会 川崎市の教員採用試験について、直接説明を聞くことができます。			
	5	13日(水)	4・5限 14:40-17:50	4回生 教採学内セミナー <和歌山県・京都府他>	(事前申し込み制) 教育委員会講師による説明会 各自自治体の教員採用試験について、直接説明を聞くことができます			
	12	9日(水)	4・5限 14:40-17:50	3回生 教採学内セミナー (近隣教育委員会)	(事前申し込み制) 教育委員会講師による説明会 各自自治体の教員採用試験について、直接説明を聞くことができます			
ボ ラ ン テ ィ ア	H27 3	30日(月)	11:30 -12:30	学校支援学生ボランティア説明会・研修会	平成27年度にボランティア活動を行う予定の学生対象 ボランティア登録の手続き、ボランティア先の探し方など			
	H28 3	2日(水)	3限 13:00-14:30	学校支援学生ボランティア修了式	平成27年度にボランティア登録をし、活動を行った学生対象 修了証書授与と体験談の発表			
教 職 模 試	4	4	4日(土)	午前	教職模試①(出題:時事通信出版局) 有料	(幼・小・中・高・特支) 教職教養・一般教養、専門教養、論作文		
			11日(土)	午前	教職模試②(出題:東京アカデミー) 有料	(小・中・高・特支) 教職教養・一般教養、専門教養、論作文		
			25日(土)	午前	教職模試③(出題:時事通信出版局) 有料(補助あり)	(幼・小・中・高・特支) 教職教養・一般教養、専門教養、論作文		
	5	9	9日(土)	午前	教職模試④(出題:東京アカデミー) 有料	(幼・小・中・高・特支) 教職教養・一般教養、専門教養、論作文		
			23日(土)	午前	教職模試⑤(出題:時事通信出版局) 有料(補助あり)	(幼・小・中・高・特支) 教職教養・一般教養、専門教養、論作文		
	12	12日(土)	午前	教職模試⑥(出題:時事通信出版局) 有料	(幼・小・中・高・特支) 教職教養・一般教養、専門教養、論作文			
	1	9日(土)	午前	教職模試⑦(出題:東京アカデミー) 無料	(小・中・高・特支) 教職教養・一般教養、専門教養			
	2	6日(土)	午前	教職模試⑧(出題:協同出版) 有料	(小・中・高) 教職教養・一般教養・専門教養			
有 料 講 座	長 期	4-1	随時	6限 18:00-19:30	タニスタ6 基礎学力向上講座	東京アカデミー担当講師による講義 次年度以降の採用試験に向けての学習対策		
		7	10日(金)	昼休 12:15-12:55	教員採用試験対策講座案内他 説明会	有料講座の募集案内や情報収集方法など		
	短 期 集 中	8-3	未定	未定	一般教養対策講座	時事通信社担当講師による講義 次年度以降の採用試験に向けての学習対策		
		9	未定	未定	チャレンジテスト対策講座			
		2	未定	未定	教職教養対策講座			
保 護 者 対 象 説 明 会	6	6日(土)	10:00-13:00	保護者対象 就職説明会	保護者のみ			